

デジタルアーカイブ振興法 の提言 福井健策

2017.9.10
アーカイブサミット2017

*弁護士(日本、NY州)
日本大学芸術学部 客員教授
神戸大学大学院 客員教授
Twitter: @fukuikensaku

デジタルアーカイブ×利活用

The image displays two overlapping screenshots of digital library websites. The top-left screenshot shows the Aozora Bunko website (www.aozora.gr.jp), which features a navigation menu with 'メイン', 'お知らせ', '検索', '別館', '資料', '運営', and 'リンク'. The main content area includes a 'メインエリア' with sections for '青空文庫について', '総合インデックス', '公開中 作家別', '公開中 作品別', '作業中', and '青空文庫 分野別リスト'. The bottom-right screenshot shows the Manga Library Z website (www.mangaz.com/), which has a blue header with the site name and a search bar. Below the header are navigation tabs for '読者のみなさまへ', '作家のみなさまへ', and '出版社の方へ'. The main content area includes a search bar, a 'ピックアップ' section with manga covers, and a 'Zオフィシャル作品' section. A sidebar on the left lists genres like '少年漫画', '少女漫画', and 'ライトノベル'. A bottom banner promotes '無料会員登録' (free registration) and '作品をアップロード' (upload works).

- 左:青空文庫 作品数14350、右:マンガ図書館Z 作品数5398、閲覧数1億2000万超(2017/8現在)

「ヒト・カネ・権利」の壁

- NHKアーカイブス(川口)、NHKオンデマンド:
- 前者はTV・ラジオで85万番組保存(ニュース除く)
- 専従チームによる権利処理。開館11年で公開率1.1%

- **挙げられた課題:**
- 過剰な権利処理コスト(経費の30%が作業のみのコスト)
- 特に、権利者の所在不明(孤児作品)、ノンメンバー

- 日本脚本アーカイブズ「放送台本の作家 3104名中、1550名」
- 英国図書館「保護期間中と疑われる図書 の43%」
- 米国「過去の学術著作物の50%」 ⇒権利者不明

作品アーカイブ化と権利 (超概略版)

	著作権 (文芸・記事・漫画・ 作詞作曲・美術・映 像・写真等)	著作隣接権 (演奏・演技・ダン スなど)	著作隣接権 (音源／レコ ード)	肖像権・プラ イバシー等
展示公開	△(公表権)	-	-	△
複製(電子化・ 録音・録画等)	○	△(映画などワン チャンスで消滅)	○	公表作品な らば×多し
上映・演奏	○	-	-	△
放送・有線放送	○	△(映画・レコード など〃)	-	△
ウェブ公開	○	△(映画など〃)	○	△
貸与(レンタル)	○	○	○	△

○: 権利者に禁止権あり=許諾必要、△: ケースによる

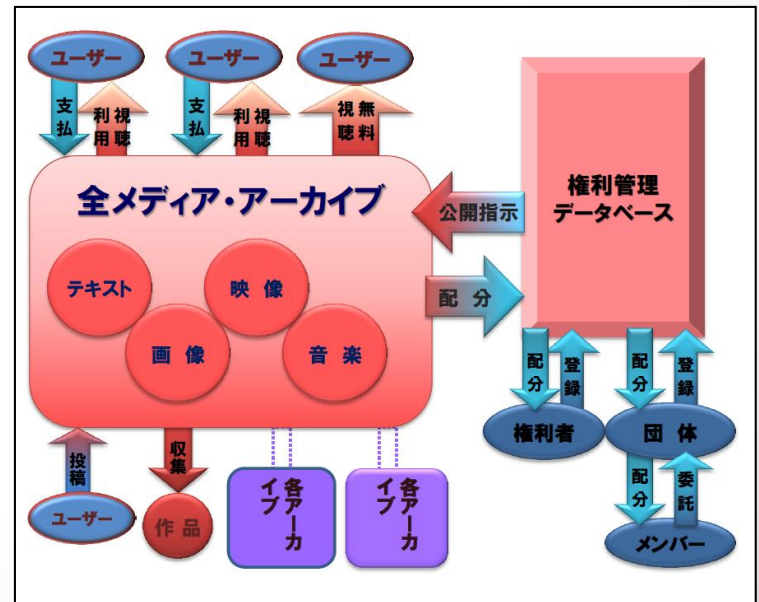
デジタルアーカイブ振興法提案

- ①アーカイブ振興基本計画
- ②全国のデジタルアーカイブのネットワーク化
⇒ナショナル・アーカイブセンター (NDAC)
- ③デジタル化ラボ、字幕化ラボの設置
- ④各国アーカイブとの相互接続
- ⑤オープン化の推進：公的資金で制作・収集された情報資産のデジタル公開を原則化など
- ⑥デジタルアーキビストの育成
- ⑦権利処理の円滑化
⇒絶版作品、不明著作者・所有者・肖像権者

ナショナル・アーカイブ構想

- 2009年 国会図書館デジタル化予算に127億円、著作権法改正でデジタル化可能に
- 2012年 総務省「知のデジタルアーカイブ」提言
- 2013年 電書議連ほか アーカイブ構想と検討
- 2014年 内閣知財本部タスクフォース報告書

- 2017年 デジタルアーカイブ学会、デジタルアーカイブ推進コンソーシアム、自民党デジタルアーカイブ議連など相次ぎ発足



福井「全メディアアーカイブ」私案

権利処理コストをどう下げるか

- ①権利情報データベースの整備
 - ②孤児著作物対策・裁定の事前補償金を撤廃
 - ③入手困難作品のアーカイブ利用規定
- ⇒以上、「知財推進計画2016」参照(p11, 46～)
- ④マルチユース契約、オープン化の推進
 - ⑤CCなどパブリック・ライセンスの活用
 - ⑥著作権・コンテンツ契約の必修講義化

図書館アーカイブ規定の到達点

★絶版その他一般に入手困難な図書館資料は、国会図書館がデジタル化し全国の図書館等に配信可(31条2項・3項)

※「図書館等」: 公立・大学図書館、公立博物館・美術館など)

※現在142万点、全国746館参加(16/11現在)

★全国の図書館等は絶版等資料をデジタル化でき、それを国会図書館が他の図書館等に配信可(2015/3文化審議会)

★図書館等に財団・社団設立博物館を追加(2015/7告示)

⇒全国図書館・博物館・美術館のネットワークアーカイブ可能

※予算、認知度、博物館登録率の改善で活用へ

パブリック・ライセンスへの期待



[表示]

作り手のクレジット
を適切に表示する
こと



[非営利]

基本的にお金
儲けはNG, でも
許諾を取ればOK



[改変禁止]

作り手の
作品を改変
しないこと



[継承]

作り手と同じ
ライセンスで

クリエイティブ・コモンズ・
ライセンス(CC)

flickr
356 million photos

bandcamp
1.95 million tracks

WIKIPEDIA
35.9 million articles

You Tube
13 million videos

500
661,000 photos

jamendo
496,000 tracks

**INTERNET
ARCHIVE**
2 million files

vimeo
5 million videos

**WIKIMEDIA
COMMONS**
21.6 million
media files

FMA
86,000 tracks

BOUNDLESS
49,000 open
educational
resources

SKILLS COMMONS
24,000 career
training materials

europaena
think culture
20.9 million
digital objects

Tribe of Noise
29,000 tracks

PLOS
140,000 articles
(Total Open Access
articles across the
web under CC BY:
675,000; under any
CC license: 1.3 million)

MITOPENCOURSEWARE
2,300 courses